3月定例会

平成22年3月定例会は3月8日に招集され、会期を3月26日までの19日間と決定。議員6人による一般質問、条例改正や補正予算、新年度関連議案などを審議。議決休会中に疑問点を整理するなど、慎重に審議を進めた結果、会期を2日間短縮して3月24日に閉会しました。

会期・日程のあらまし

8日　会期を26日までの19日間と決定。町長から「町立国保病院の医師確保」についてなど、４件の行政報告を受けました。

続いて、人事案件及び平成21年度関連議案を審議。一般会計補正予算案は議員提案により修正可決となりました。

9日　平成22年度関連議案が一括上程され、町長から町政執行方針が示されました。

その後の一般質問には３議員（平野・古舘・岡本）が登壇。農業政策や経済振興、自殺者対策など活発な議論が展開されました。

10日　前日に続き３議員（坂田・柏葉・大江）が一般質問に登壇。学校教育、緑の苑の経営移譲、林業政策などで議論を交わした後、各担当部長から新年度関連議案の提案説明を受けました。

11日　引き続き、各担当部長から新年度関連議案の提案説明がありました。

12日　12日及び15日から19日までの６日間を議決による休会とし、各会派等において議案の疑問点を整理しました。

13日から14日　休日休会。

15日から19日　議決休会。

20日から22日　休日休会。

23日　開会後、町長から追加の行政報告を受けた後、新年度関連議案の質疑を行いました。

24日　前日に続いて質疑を行った後、本会議を休憩して会派等において新年度関連議案の扱いを協議。午後２時過ぎには本会議を再開して表決に入り、すべての議案を原案のとおり可決しました。

その後、町三役及び議会議員の期末手当、非常勤職員の費用弁償を改正する条例改正案が議員発議され、いずれも全会一致で可決。全日程を終了したことから会期を２日間短縮し、会期17日間で閉会となりました。

22年度予算 総額177億5158万2千円に

対前年比2・5㌽、4億5千万円減の緊縮型

夢輝くまちづくりの実現を

平成22年度各会計予算と関連議案は第2日目の9日に一括上程され、土谷町長から町政執行方針と主要施策について説明を受けました。

この中で町長は「任期の最終年度を迎えるが、地方自治を取り巻く環境が大きく変化する中で、厳しい時代こそ、これまでの慣習にとらわれることなく、美幌の未来を見据えたまちづくりに全身全霊を傾注して参る所存である。

町の財政状況は、行財政改革の着実な推進に加え、公的資金補償金免除繰上償還制度によって公債費の抑制が図られたこともあり、財源不足を補てんするための基金繰り入れは財政運営計画を下回り、財政健全化法に基づく指標も早期健全化基準をクリアしている状況にある。

しかし、新年度は第Ⅲ期埋立処分場の整備や（仮称）文化ホール建設、水道未普及地域解消事業などの大事業の実施に加え、政権交代による新たな財政事情も発生してきており、引き続き厳しい財政運営を強いられる。国の経済対

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附

12月22日、仲町1丁目在住の前田フミ子様より、故前田鴻治郎様が生前お世話になったお礼として１００万円を。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用してまいりたい。

◆町立国保病院の医師確保

道内医育大学など各種関係機関との協議や様々な媒体による募集を行ってきた結果、新年度から常勤医師２人を採用できる見通しが立った。

採用予定の医師は、東京大学医学部卒業で江差町国保病院に勤務している杉浦有重医師（66歳）と、防衛医科大学卒業で大分県中津市民病院に勤務している松井寛輔医師（54歳）の２人である。杉浦医師は一般内科医として４月１日の着任予定、松井医師は循環器内科医として５月１日の着任を予定している。

今後、常勤医師７人体制で診療にあたることになるが、地域医療を守る観点からも、引き続き医師確保と経営改善に取り組んでいきたい。

◆石田正子選手の競技結果

カナダで開催されたバンクーバーオリンピックのクロスカントリースキー女子30㌔クラシカル競技において、本町出身の石田選手が5位入賞の快挙を成し遂げた。オリンピックのスキー距離競技において、日本男女を通じて過去最高順位であり、長年、世界の強豪国の壁にはね返されてきた日本スキー距離競技界の「歴史を変えた」とも言われている。

町政執行方針　小さくてもキラリ

策を最大限活用しながら、安定的な行財政運営を行うとともに、将来にわたって持続可能で安定した財政運営を確立するため、不断の行財政改革を行い、未来へつなげるまちづくりの実現に向けた行財政体質の構造改革を進めていきたい」と延べ、６項目を柱とする主要施策を説明。

　最後に、町長は「民間にできることは民間に委ねる基本的な考え方を基に、財政運営計画に沿った計画的な取り組みや徹底した行財政改革及びアウトソーシングの取り組みにより、新年度の一般会計予算案は当初予算ベースで６年連続１００億円を切る予算規模となった。今後、美幌峠牧場の公社による経営問題、消防救急無線デジタル化への対応をはじめ、超高齢社会にも対応できる安定した財政基盤を築くため、引き続き財政の健全化を図っていかなければならない。

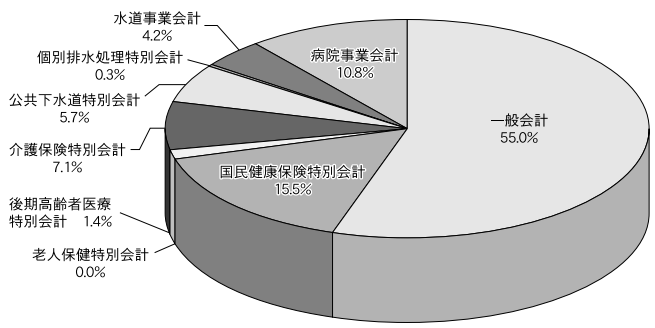
　町民の皆さん一人ひとりがまちづくりの主役である。新しい時代を既存の考え方にとらわれず、柔軟に対応する発想と思考でこの厳しい時代を乗り越えてこそ、美幌町の明るい未来が開かれるものと確信している。町民憲章に記された『ふるさと美幌』のあるべき姿を追い求め、将来に希望や夢の灯りがともる『小さくてもキラリ夢輝くまちづくり』を実現するため、総合計画の実現とマニフェストでお約束した取り組みを着実に実行すべく、残された期間を全うしたい」と結びました。

平成22年度予算総括表

（単位：千円・％）

会計名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増減	増減率
一般会計	9,766,519	9,466,639	299,880	3.2
特別会計	5,327,367	6,047,003	△719,636	△11.9
国民健康保険	2,743,859	2,748,451	△4,592	△0.2
老人保健	1,720	1,226	494	40.3
後期高齢者医療	240,165	221,178	18,987	8.6
介護保険	1,268,463	1,257,830	10,633	0.8
介護サービス	0	348,716	△348,716	皆減
公共下水道	1,011,202	1,403,358	△392,156	△27.9
個別排水処理	61,958	66,244	△4,286	△6.5
企業会計	2,657,696	2,690,593	△32,897	△1.2
水道事業	739,286	821,314	△82,028	△10.0
病院事業	1,918,410	1,869,279	49,131	2.6
合計	17,751,582	18,204,235	△452,653	△2.5

平成22年度各会計の予算規模



予算総額　177億5,158万2千円

　本町出身者から初めての入賞者を輩出できたことは、スキー関係者はもとより本町にとって大変名誉である。石田選手のオリンピックでの勇姿は、町民のみならず全国民に素晴らしい感動と夢を与えてくれた。今後とも「世界の石田」として、さらなるご活躍を期待したい。

◆久保恒造選手の競技結果

　バンクーバーパラリンピックにおいて本町出身の久保選手が、クロスカントリースキー男子14㌔リレー競技５位、バイアスロン男子12・5㌔シッティング競技６位、クロスカントリースキー男子10㌔シッティング競技７位と、出場５種目中、３種目で入賞の快挙を成し遂げた。

　パラリンピックでの入賞は本町では初めてで、全町民がこの上ない喜びを感じているところである。久保選手の並々ならぬ努力とそれを支えた本町出身の阿部由香里コーチ、関係者の尽力の賜物であり、久保選手の勇姿は全町民、全国民に限りない夢と感動を与えてくれた。今後とも「世界一のアスリート」を目指して、さらなるご活躍を期待したい。